



## Happy New Year ! 2018

希望、笑顔と平和の一年となりますように！  
May it be a year of hope, smiles and peace!



今年もよろしくお祈りします！  
ポーポキ・ピース・プロジェクト・Popoki Peace Project

## ポーポキの目標 2018年！

1. 非暴力で平和な世界の創造のために積極的に行動します！
2. 今までの友だちを大切にしながら新しい仲間をつくり、一緒に学び合い、行動し、そしてつながりをいっそう確かなものにします！
3. 東日本大震災の支援活動を継続します！
4. 平和と健康、安全、安心についての取り組みを継続し、深めます！
5. 身近な世界にも遠くはなれた世界にも関心を持ち、情報を共有する。考えたことや見聞きしたこと、感じたことについて報告し合い、共有し続ける！
6. 周囲の人にもよろこびを提供し、みんなで喜びを分かち合います！





1月！ちょっと遅いけれど、あけましておめでとうございます。日本は大寒波！でも、みなさまにポーポキのとてまあたたかい気持ちをおくります！今年も楽しく一緒に平和づくりに取り組みたいです。よろしくお願ひします。

## Popoki's Hot News!



COMING SOON!

3月17日13:00～ 「絵と絵本と災害と医療のもちよりパーティ」！大槌町からゲスト2名！奈良や大阪や東京やもちろん神戸からも！みんなで絵を描いたりトークしたり！ぜひご参加ください。



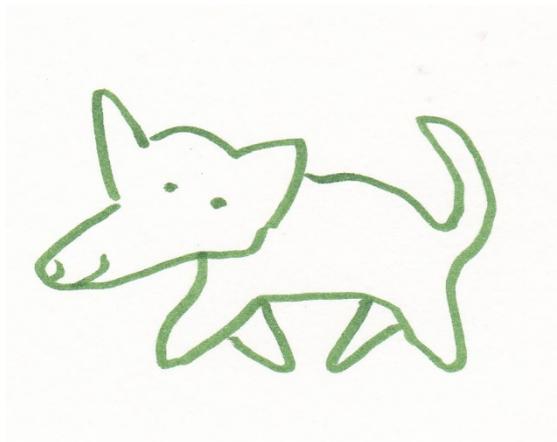
### 「一言の平和」コーナー

ポーポキのお友だちのちひろにゃんは、次の「一言の平和」を送ってくれました。

「冬の寒い日に、窓辺で日向ぼっこをしているお隣さんの家の猫。心地よい場所でリラックスして自分の時間を過ごすことができるのは平和だと思う。」

あなたは今日、どんな「平和」に出会いましたか？ぜひお聞かせください。  
ポーポキのメール [ronniandpopoki \(at\) gmail.com](mailto:ronniandpopoki@gmail.com)！

成年です！ねこも犬と仲良くするとしにしましょう！



2018. 1. 17によせて

ろにゃん

ねこでも忙しい日はある  
寒くて、丸くなりたい日  
快適な昼寝場所を探す日  
人間に気遣う日  
お花をかぐ日  
など。など。  
忙しい。  
立ち止まるひまはない。

一本の水仙  
寒そうに、さみしそうに  
咲いている  
水仙も忙しいかな

走り続けている私  
厳しい寒さの中で咲いている水仙を見つけた  
そこで思った  
忙しすぎる自分  
イライラしている自分  
立ち止まれない自分

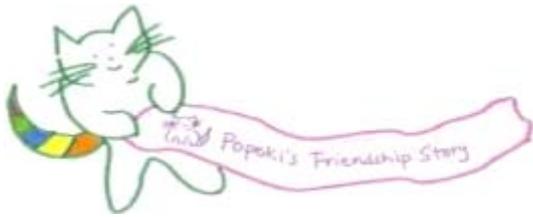
23年前の大きな地震  
思い出す時間がない  
今だからこそ  
立ち止まって  
深呼吸して  
そして、その大きな地震が  
いわんとしていることを  
再確認すべき

なにが大事？  
だれが大事？  
どうすれば  
家族、友だち、自分や  
動物、植物、おうち、まち  
これから出会うかもしれないひと  
を守れるのか

いそがしいからこそ  
想いだしたくないからこそ  
生きているからこそ  
今日は立ち止まって  
思い出そう  
明日のためにね

\* 1995年1月17日に起こった阪神・淡路大震災の記憶を風化させない気持ちを込めた詩です。





## \*Popoki's Interview\*

ろにゃん

対象：ハフィズ・アミロルさん

今回は1月初めに来日した MERCY Malaysia の Mr. Hafiz Amirrol にインタビューをしました。ハフィズさんは、3日間しか神戸に滞在しませんでした、とても中身の濃い日々でした。あまりにもたくさんのお話をしたので、インタビューする予定だったのをすっかり忘れてしまいました。そこで、帰国後に質問を送ったら、以下の文章をいただきました。ハフィズさん、ありがとう！



1. あなたのことについて教えてください  
私の名前はハフィズ・アミロル (Hafiz Amirrol) です。専門は建築、そして都市計画ですが、仕事は芸術や人文学から哲学や工学まで、さらに人道支援や開発プロジェクトの戦略的企画と開発です。長年、専門家としての仕事（都市計画とデザイン・コンサルタント）、市民社会・NGO（人道支援）、そしてアカデミア（教育・研究）の三役を同時に果たしている。

現在、ASEAN から生まれ、世界に人道支援を提供する NGO、MERCY Malaysia の「レジリエント・コミュニティの形成プロジェクト」の担当をしています。この仕事は、コミュニティ間のレジリエンスを高めるための戦略的イニシアティブづくりを中心とします。現在のプロジェクトは、ASEAN の各メンバー国などで行っています。さらに、アジア各地の 52 もの市民団体からなる「アジア防災・災害救援ネットワーク (ADRRN)」のコーディネーターになることが決まっています。このネットワークは減災や災害支援を中心に活動をします。本部はクアラルンプール、デリと東京にあります。

さらに、EXTRAURBAN Design という、都市計画とデザインのコンサルタント事務所をクアラルンプールで営んでいます。行政も民間人からも仕事の依頼があり、その内容は、戦略的都市開発企画、都市デザイン、建築デザインとブランディングなどである。これらの仕事以外にクアラルンプールの大学の都市デザインプログラム担当で、都市と都市主義について研究しています。

2. MERCY Malaysia というマレーシアの NGO で働いていますね。どのような組織で、ハフィズさんはどんな仕事をしていらっしゃいますか？

MERCY Malaysia (The Malaysian Medical Relief Society) は非営利団体で、医療支援、持続可能な保健開発、減災活動や、緊急時と平時における脆弱なコミュニティのレジリエンス向上といった活動を国内外で展開しています。MERCY Malaysia は緊急医療支援、人道援助、

減災活動を通じての持続可能な開発をします。具体的には、病院や診療所の復旧や復興と、緊急時・平時における保健関連の訓練と教育を提供します。

このような活動における同団体の経験や専門性は、長年の実践を通じて内容が広がり、特に国際的な訓練やハイレベル政策協議に参加することによって深まってきている。MERCY Malaysia は、世界防災会議に積極的に参加してきました。2005 年に神戸で開催され、「ひょうご行動枠組み 2005 – 2015」が採択されたときも 2015 年、仙台で開催され「仙台防災枠組み (SFDRR) 2015-2030」が採択された会合にも参加しました。最近では、2016 年にイスタンブールで開催された世界人道サミット (WHS) に MERCY Malaysia が参加し、関連会議の共催およびハイレベルセッションで発言してきました。この WHS で MERCY Malaysia は上記の BRC プログラムを開始しました。これは、世界規模の SFDRR および地域規模の「災害管理と緊急対応に関するアセアン合意 (AADMER)」に対して、マレーシアにおいて、はじめての国内外に対する具体的な対応計画です。

人道支援や医療支援を行う多くの国際 NGO と同じように、MERCY Malaysia は積極的に最も被害を受けている人々への緊急支援を行ってきました。2005 年 1 月に MERCY Malaysia は天然災害に対する包括的な取り組みとして、「総合災害リスクマネジメント (Total Disaster Risk Management; TDRM)」アプローチを開始し、国内外の主なプロジェクトに適用しました。長年、天然災害への対応をするなかで、災害が起こる前の各コミュニティの防災準備の重要性に気づきました。普段、災害後の時期が注目されるけれど、私たちは防災活動に同じような、場合によってはそれ以上に注目するように心がけています。

### 3. あなた自身は昔から人道支援やボランティアに関心がありましたか？そのきっかけはなんでしょう？

建築家として受けた教育は、コミュニティにおける社会開発や正義、そして造られた環境 (built environment) に関心を持つように私を導きました。しかし、建築産業の優先順位のアンバランス、つまり社会のニーズよりもモノの経済に影響され、支配されていることに気づきました。そこで、当時あまり注目されていなかった道に建築家としての知識を発揮することを選びました。その当時 MERCY Malaysia は、2004 年のインド洋津波に大きな被害を受けたインドネシアのアチェでの復旧・復興プロジェクトのデザインや建築に建築家を必要としていました。これが人道支援に対する関心のきっかけのみならず、その後、広く市民社会や貧しい人々のための人道的支援・開発にコミットをするようになりました。

4. 先日、神戸大学や神戸大学中等学校に講義をしていただきましたが、それらに参加したおよそ 250 人の学生のほとんどは、ふりかえりアンケートに「ジェンダー」と「災害」に関係があるとは思ったことがない、と答えました。マレーシアの学生は、災害について考えることはありますか？あるとすれば、災害とジェンダーについて考えると思いますか？個人的にいうと、神戸の大学生や高校生は今までの人生において、なんらかの形でジェンダーと災害を体験したことがあると思います。しかし、彼らはそれらの重要な関係性について正式に考えたことがなく、とくに広い意味での人類全体の状態やレジリエンスとの関係性について考えたことがないかもしれません。マレーシアの学生も、無意識に同じような体験や経験的な知識を持っているかもしれませんが、彼らも構造的に、科学的に考えたことはない

でしょう。これは近代史において、マレーシアは大規模な破壊的な災害を受けたことがないからかもしれない。

しかし、最近の 2014 年の東海岸洪水が我々の目を覚まさせて、まじめに考え、災害に関する今までの知識や理解を実践に移す必要に気づかせてくれました。真っ向から「ジェンダーと災害」を取り上げたことはないかもしれない。なぜなら、マレーシアのコミュニティにおいて、特に市民社会やユースや学生はこのことについてはよく知らないからだと思います。しかし、1995 年以來、マレーシアはジェンダー格差を縮めるように努力し、政策レベルにおいても生活面においてもジェンダー平等を強化し、差別をなくすように様々な取り組みを行ってきている。

第 11 マレーシア計画戦略的 thrust1-3 および中等階層社会に向けての B40\*取組を通じてジェンダー平等を図っています。ジェンダーと災害の領域においては、数多くの具体的な行動やイニシアティブが必要でしょう。たとえば、ジェンダーに特化した減災対策や自治体・人道支援アクターを対象とした政策も必要でしょう。

\* B40 は、月収 RM3,900 (約 109,000 JPY)以下に位置する 40%の家庭を意味する。

## 5. 神戸訪問について共有したいことはありますか？

神戸は素晴らしかった！神戸大学の男女共同参画推進室と MERCY Malaysia の協働は、人道支援や減災についての経験を共有するだけでなく、私たちにコミュニティ対応や取組全体において、ジェンダーについて積極的に考える必要性を再確認する機会を与えてくれました。

## 6. ポーポキ通信の読者にメッセージはありませんか？

私の最も好きな歴史家の一人、アーノルド・トインビーのことは共有したい。

「20 世紀は、政治的対立や技術発見の時代としてではなく、むしろ人間社会が実践的な目標として人類全体の健康を考える勇気がある時代として主に覚えられるだろう。」



# ポーポキちゃんの簡単ポガ教室

## Lesson 116

今月のテーマ寒さで硬くなっている体をほぐす！



1. まず、いつものように、美しく座りましょう。
2. では、立ちましょう。手も足もひろげて、飛行機が旋回するように右へ！そして反対に左へ！
3. 次は、今度は足を広げたまま、前屈！足首のうしろに手をおくことができますか？
4. 最後に再び足を広げて立ちましょう。そして今度は手を広げながら空をみましよう！太陽をだっこできますか？
5. できてもできなくてもがんばりましたね。では、「できたポーズ」をどうぞ！お疲れ様でした。少しリラックスできましたか？毎日、深呼吸・笑・リラックス、そしてポガを最低3分間練習しましょうね。

## ご一緒にいかが？



次回のポー会： 2月28日 19:00～ 灘薬剤師会事務所

- 2.9-13 ポーポキと友だち@大槌町
- 3.17 「絵と絵本と医療と災害のもちよりパーティ」！シンポ&ワークショップ @灘区民ホール！13:00～16:00。お待ちしております！チラシなどは2月中にできます！PRにもご協力ください。
- 4.6 ユネスコチェア・キックオフシンポ@神戸大学。災害やジェンダー、あるいは夏にインドネシアで開催される国際的なサマープログラムに興味ある方はぜひご参加ください！
- 4.21 2月の大槌活動報告会@神戸学生青年センター(予定)。午後！友情物語活動経験者、興味ある人、これから興味を抱く人…。みんな、ご参加ください。

ポーポキの友だちから

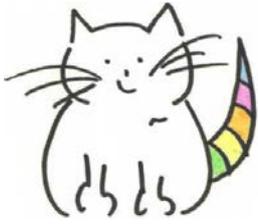
新しい絵本：中條聖子著、ロニー・アレキサンダー訳『森のかんづめ』（日英版）エピック  
2017年

# Popoki in Print

ポーポキ通信のバックナンバー：<http://popoki.cruisejapan.com/archives.html>

- 「ポーポキのミニ平和映画祭」「こくしのまど 52」『神戸青年・Kobe YMCA News』No.652 2017.7-8
- ESD Digital Archives, Kansai Council of Organizations for International Exchange <http://www.interpeople.or.jp>
- 関西国際交流団体協議会の「デジタルアーカイブ(WEB版の事例集)にポーポキ！ <http://www.interpeople.or.jp>
- 『平和を考える絵本出版 被災者支援きっかけに』『神戸新聞』（貝原加奈 2014.4.25 28面）
- 「ボランティア 37 団体に助成 大和証券福祉財団」『神戸新聞』（2013.8.23 朝刊 地域経済 8面）
- 「原爆の熱線で焼き付いたー “人影”再現、非核誓う」『神戸新聞』（2013.8.7 朝刊 22面）
- 「被災 秘めた思い描いて」「ひとと抄」『読売新聞』（2013.2.16 夕刊 4面）
- 広岩近広 『安全』『安心』の社会は足元から」、ロニー・アレキサンダーインタビュー 『毎日新聞』 2012.10.29（「今、平和を語る」、夕刊、1面）
- R. Alexander. “Remembering Hiroshima: Bio-Politics, Popoki and Sensual Expressions of War.” *International Feminist Journal of Politics*. Vol.14:2:202-222, June 2012
- 「ポーポキと一緒に作り出す平和の根底に 9 条がある」NO : 66 2012 年 5 月 12 日 [子どもと守る9条の会]
- 「布に希望 60メートル」阿久沢悦子 『朝日新聞』 2012.1.21 (兵庫・29面)
- 「平和祈る声まとめ本に」斎藤雅志 『神戸新聞』 2012.1.19 (伝える 1・17 3・11、22面)
- K. Wada. “Conversations with Ronni Alexander: The Popoki Peace Project; Popoki, What Color is Peae? Popoki, What Color is Friendship?” *International Feminist Journal of Politics* Vol.13, No.2, 2011, 257-263
- S. McLaren. “The Art of Healing” (Popoki Friendship Story Project) *Kansai Scene*. Issue 133, June 2011, p.10. kansaiscene.com
- R. Alexander. (2010) “The Popoki Peace Project: Creating New Spaces for Peace in Demenchonok, E., ed. *Philosophy after Hiroshima*. Cambridge Scholars Publishing, pp.399-418
- 「省窓」『神戸青年』 No.606 2011.1.2 p.1
- No.1 「『ポーポキ、平和って、なにに色？』の背後にあるもの」（連載）とさぼりライフ第 19 号 2010.10:4
- 堀越健志「シリーズ:こくさいのまど⑮(パレスチナについて)『神戸青年』 No.604 2010.9-10
- 「みんなでやれば、何にかが変わる！」 THE YMCA No.607 June 2010, p.1
- [ヒロシマと世界：被爆地の声 非核と平和、復興と再生、許しと命の尊厳訴え] [http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/article.php?story=20100312140608602\\_ja](http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/article.php?story=20100312140608602_ja)
- 2010.3.15 中国新聞 ヒロシマ平和メディアセンター
- FM COCOLO 76.5 ‘Heart Lines’ 2010.1.9 Interview: Ronni on Popoki in Palestine
- “Human Rights, Popoki and Bare Life.” *In Factis Pax Journal of Peace Education and Social Justice* Vol.3, No.1, 2009, pp.46-63 (<http://www.infactispax.org/journal/>)
- 西出郁代 「ポーポキ、平和って、なにに色？ロニー・アレキサンダーを迎えて」『PPSEAWA』（日本汎太平洋東南アジア婦人協会）No.63 2009.12, p.5.
- 「友情」第 2 号 2009.11 伊丹市国際・平和交流協会 年間事業報告 pp.1-2
- 「ともに・・・」 No.29 2010.1 家庭と保育所、学校園、地域を結ぶ在日外国人教育情報誌 ポーポキ・ピース・チャンレジ情報 p.12
- 区民情報誌「なだ」 2009.12, p.2. ポーポキ・ピース・チャレンジ情報。
- 「『ポーポキ、友情って、なにに色？』」「私のいち押し」奥田光子 THE GAIDAI 2009.7.17 No.243 (関西外大通信)
- 「友情って・・・考える絵本」朝日新聞「生活」(阿久沢悦子) 2009.7.2
- 「友情を考えて人間と、ねこと、そして自分と～」れ組通信 RST/ALN 2009.6.28 No. 259, p.11
- 「カティング・エッジ」第 35 号 2009.6 (北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」)「新刊紹介:『ポーポキ、友情って、なにに色？ポーポキのピース・ブック 2』(レベッカ・ジェニスン) p.3
- 「猫を通して平和を考える 絵本の第 2 弾を出版」(斎藤雅志) 神戸新聞 2009.4.21
- 「ポーポキ、平和ってなにに色？」 KOBE YMCA NEWS 「神戸青年」 2009.3.1 No.593 p.2
- 「ポーポキ、ゴミってなにに色？」 KOBE YMCA NEWS 「神戸青年」 2009.1.1 No. 592 p.2
- 「友だちになってくれませんか？」 RST/ALN 2009.2.22
- ラジオ番組の中のポーポキ！！ プロジェクト・メンバーの宇宙賀佳代子さんがラジオ番組で紹介してくださいました。ぜひお聞きくださいね。 <http://www.kizzna.fm/> 録音番組。(リンクは現在無効)
- やさしいから人なんです展パート20 実行委員会 『世界人権宣言』 ひょうご部落解放・人権研究所 2008. 10 500 円。詳しくは: [blrhyg@osk3.3web.ne.jp](mailto:blrhyg@osk3.3web.ne.jp)
- 「KFAW カレッジ ロニー・アレキサンダー氏 講演会」エイジアン・ブリーズ/Asian Breeze No.54 October 2008, p.8 (アジア女性交流・研究フォーラム)
- 「ピースセミナー in 熊本 あなたにとっての「平和」とは？」 Kumamoto YMCA News 10; Vol.437 October 2008, p.1
- 神戸新聞「人権宣言 兵庫から発信 全 30 条 イラストで表現 地元ゆかり 6 名がパネル制作」 2008.10.8. 10





## わたしにとってのポーポキ

アンギニャン

和訳 アルディアにゃん

「おうちにいる」ということはあまりにも大事～神戸市灘区の阪神・淡路大震災記念・人と防災未来センターに行って、触発されたこと。



「おうち」の意味は、私たちが住む物理的な場所ではないと考える人がいる。「おうち」は、私たちが安心して快適に過ごすことができる場所。ポーポキにとって、もっとも好きな場所は「おうち」でしょう。私も同じ—おうちが大好きです。私にとって、「おうちにいる」ということを別の表現で説明するとすれば、本当の自分が受け入れられる場所だと思う。

「おうちにいる」ということは、人によってその意味が違うでしょう。「愛する人々の近くにいる」ことや、「自分自身を自由に表現できること」、「長い一日の最後に安心して温もりを感じるところ」など、様々な意味があります。一つ一つの意味はユニークで、そう思っている人にとっては本当の意味だと思う。

また、「家にいる」という状態を、特定の場所や時間に関連付ける場合が多い。



しかしながら、学校や仕事に通ったり、友だちと遊んだり、買い物に行ったり、あるいはただ単に外で風に当たったりして、毎日家から出なければなりません。家を離れなければならないか、それともさらに大変なことに家を失わなければならないことがあったら、いったいどうなるのでしょうか？きっととても悲しむでしょう。阪神・淡路大震災記念・人と防災未来センターを訪問したときにそう思ったのだ。

その大きな地震は、23年前にちょうど今と同じ月（1月）の早朝に起こりました。そこにいた人たちに大きな物理的および精神的なインパクトを与えました。そして、その大地震が起こったとき、人々にはできるだけおうちの中にいたい寒い冬の時期でした。



ポーポキは、突然におうちがなくなったり破壊されたりしたら、とても悲しむでしょう。

しかし、大変なときは新しい可能性、変化や驚きをもたらすことがあります。場合によっては、最悪の状態の中からとても良いことが生まれる転機かもしれない。

震災が体験した人々に重要なインパクトを与えたことに驚きました。たとえば、尼崎市稲村和美市長に会う機会がありました。彼女は、その大きな地震は、自分自身にとって転機となった、という。なぜなら、政治家になって社会を変えようと思ったからです。

日本では女性の政治家はとても少ないのに、そして別のとき、神戸市議会のメンバーと議論する機会がありました。彼は比較的若いのに、既に議員になっていることに驚きました。彼は議員になる動機は、阪神淡路大震災の体験だと言いました。二人ともは、災害の体験がきっかけで政治にかかわりたくくなりました。



自分自身が悲しいだけではなく、周りに悲しく希望を失った人がたくさんいたら、ポーポキはどうするのでしょうか？

ポーポキは考える。大きな災害がなければ、自らの脆弱性に気づかない？ 大きな災害がなければ、一人で生きていけないということに気づかない？ 大きな災害がなければ、「おうちにる」ことなど、当たり前になっていることの大切さに気付かない？ 大きな災害がなければ、社会を変えようとするのをしよとしない？

災害を体験すると、簡単にあきらめないこと、感謝をすること、周りを気遣う、より優しくして良い人になるように努めることを学ぶことができると思う。

ポーポキ、どう思う？ポーポキ???

あああ、新しいおうちでぐっすりおねむですね…。

ご協力お願いいたします！



ポーポキ・ピース・プロジェクトは、『ポーポキ、平和って、なに色？ポーポキのピース・ブック1』（エピック、2007年）、『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック2』（エピック、2009年）、『ポーポキ、元気って、なに色？ポーポキのピース・ブック3』を題材に、全身で平和の意味を探り、一人ひとりの「発見」を平和の創造に役立てようとする小さな平和活動団体です。また、2011年に起こった東日本大震災をきっかけに活動をしており、『ポーポキ友情物語 東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅』という本を2012年1月に発行しました。2006年に設立されて以来、日本国内外で幅広く平和のためのワークショップなどの開催を続けてきました。活動の資金はすべて本の売上や寄付によって行っています。

これからも平和を考えるためのピース・ワークショップ、読み聞かせ、ピースキャンプ参加、ポーポキのピース・ブックの翻訳（『ピース・ブック1』は既に10か国語に翻訳されている）、『ポーポキのピース・ブック3』の執筆などの活動を中心に活動を続ける予定です。定期例会「ポー会」を月に一度のペースで開催しています。一緒に活動なされたい方はぜひご参加ください。（ポー会の開催については、ポーポキ通信の「一緒にどうぞ」の欄をご参照されたい。）

また、こういった活動に対してのご協力、ご支援をぜひお願いしたいと存じます。本の購入・寄付・本についてのコメント、感想、注文などについては、[popokipeace@gmail.com](mailto:popokipeace@gmail.com) へお問い合わせください。

なお、本についての問い合わせや注文は、お近くの書店、アマゾン、あるいはエピック（TEL: 078-241-7561・FAX: 078-241-1918）へどうぞ。

ポーポキ・ピース・プロジェクト [popokipeace\(at\)gmail.com](mailto:popokipeace(at)gmail.com)



<http://popoki.cruisejapan.com>

郵便振替口座番号 00920-4-280350

ゆうちょ銀行 店番099 店名099店 当座 口座番号0280350

口座名 ポーポキ・ピース・プロジェクト神戸

ポーポキ平和募金は一口 1500 円 何口でも結構です。



THANK YOU FROM POPOKI!!